

■ 株主メモ

証券コード	7716
事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
株主確定基準日	定時株主総会議決権行使の基準日 12月31日 期末配当金の基準日 12月31日 中間配当金の基準日 6月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法	当社ホームページに掲載します。ただし、やむを得ない事由によって電子公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ スタンダード
お知らせ	<ul style="list-style-type: none">● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。● 未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

BUSINESS REPORT



第69期第2四半期
2020年1月1日~2020年6月30日
株式会社ナカニシ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス・パンデミックによって、世界中の多くの歯科医院が休業または診療活動が大幅に制限されることを余儀なくされ、歯科製品関連ビジネスの市況感は急速に悪化しました。全世界に展開している当社事業も大きな影響を受け、2020年上半期の業績は非常に厳しい結果となりました。

年始、中国を除く世界の各市場で概ね堅調な滑り出しとなったものの、コロナ禍で状況が一変、3月以降は業績面への影響も色濃くなりました。各国でのロックダウンが解除され始めた5月以降、感染症対策と経済活動の両立が模索されたことから、歯科製品関連ビジネスも徐々に動き始め、地域差が残るものの、5月には底入れし、概ね回復基調に転じてきています。

ロックダウン中もリモートワークを主体に活動を絶やすことなく継続していた当社は、ロックダウン解除後に一部の地域で急速に立ち上がったリバウンド需要にも機動的に対応することが出来ました。市場での当社のブランド力と信頼を高めることが出来たと考えています。

新型コロナウイルスの世界的流行は、社会や人々に大きな変化をもたらしていますが、一方で、歯科医療の必要性・重要性や当社製品の優位性に何ら変動は起きていません。当社は、長期ビジョン「VISION2030」の実現に向けた歩みを止めることなく、中期経営計画「NV2025」に基づき、やるべきことを粛々と遂行してまいります。

感染拡大の第2波が各地で起こっており、今後の見通しはまだまだ不確実な状況が続くものと思われませんが、全従業員ONE TEAMとなって、企業価値向上を目指して、前進し続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社の成長にご期待頂くとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長執行役員
中西 英一




2020年上半期の業績について

2020年上半期は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、歯科製品関連事業、工業製品関連事業ともに大幅な販売減となり、売上高は前年同期比 20.7%減の136億円となりました。

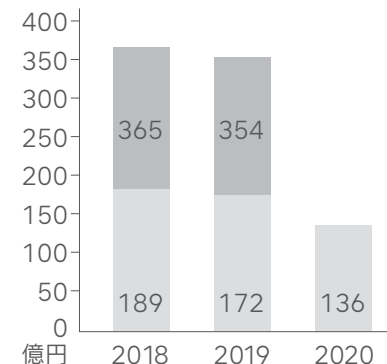
経費削減等、必要な手段を講じたものの、減収に伴う利益の減少が大きく響き、営業利益は同比40.7%減の23億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同比38.6%減の18億円となりました。

歯科製品関連事業においては、年始好調な滑り出しとなったものの、コロナ禍の影響で、3月以降に販売が大きく落ち込み、ほぼ全ての地域で減収となりました。

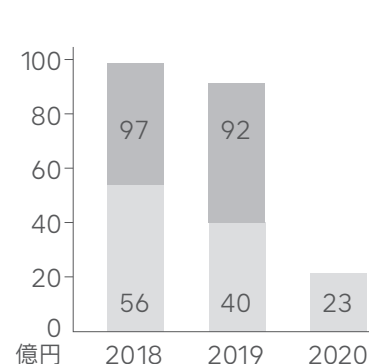
工業製品関連事業においては、次世代通信規格(5G)関連投資が立ち上がったものの、米中貿易摩擦問題にコロナ禍が重なり、ほぼ全ての地域で販売が落ち込みました。



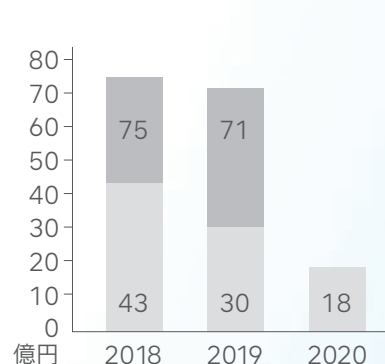
■ 第2四半期(累計) ■ 通期(累計)



■ 第2四半期(累計) ■ 通期(累計)



■ 第2四半期(累計) ■ 通期(累計)



歯科製品関連事業の概況について

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界各都市のロックダウンによって歯科医院の患者数は激減しており、歯科治療器具の需要が大幅に縮小しました。一方、「歯科治療における感染防止対策」への関心は、歯科医師・患者双方で非常に高まっており、治療器具の洗浄・消毒・滅菌（再処理サイクル）関連製品や治療毎の再処理サイクルの実行に伴う歯科治療用ドリル（ハンドピース）の買い増し需要が一部の国で起きています。

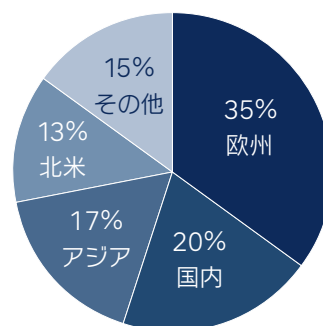
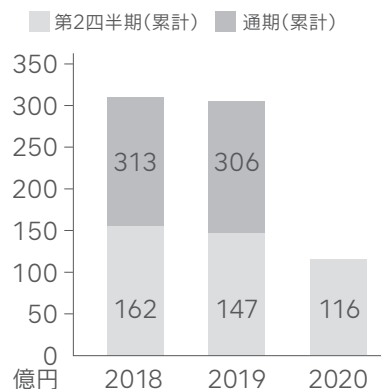
[欧州] 欧州市場の売上高は前年同期比15.9%減の41億円となりました。ロックダウン後、ハンドピースの買い増し需要が発生し、販売は復調しました。一方、OEM製品は、需要減に伴う相手先の在庫調整で売上が大きく落ち込みました。

[国内] 国内市場の売上高は前年同期比18.8%減の22億円となりました。緊急事態宣言後、国内の歯科医院でも休業が増えたため、販売は低迷しました。

[アジア] アジア市場の売上高は前年同期比7.4%減の19億円となりました。東南アジア諸国の販売が低迷しましたが、中国市場が盛り返し、売上を下支えしました。

[北米] 北米市場の売上高は前年同期比37.1%減の14億円となりました。ロックダウンの影響が大きく響き、特に規制の厳しいカナダは販売低迷が続きました。

[その他] その他地域の売上高は前年同期比28.8%減の18億円となりました。ロックダウン明けに豪州が持ち直したものの、中近東や南米が大幅に落ち込みました。

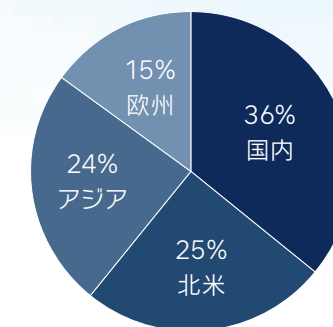


歯科製品関連事業
2020年上半期
地域別売上高比率

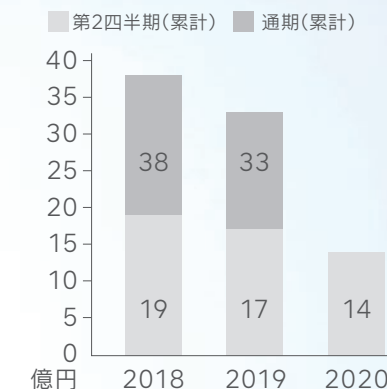
工業製品関連事業の概況について

工業製品関連事業においては、米中貿易摩擦による需要停滞が続く中、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界的な経済減速が重なったことで、市況感は大きく悪化しました。中国を中心とするアジア地域では5G関連投資が立ち上がったものの、全世界的な販売減を補いきれず、減収となりました。

各市場ともに生産設備への投資意欲は縮小傾向にあり、当面は厳しい事業環境が続くものと予想していますが、5G関連投資案件や生産現場の自動化ニーズ等は継続しており、これらの最大限の取り込みを目指してまいります。



工業製品関連事業
2020年上半期
地域別売上高比率



2020年度の業績予想について

新型コロナウイルス・パンデミックに伴い、当社の事業環境は先行き不透明な状況が続いています。世界各国では感染拡大防止と経済活動の再開の両立を目指している一方で、感染拡大の第2波も発生しており、予断を許さない状況です。そのような中、今夏以降に感染拡大に伴う世界的なロックダウンは起きないという前提で、自社で行った世界各市場の動向調査の結果を踏まえて合理的と考える業績予想を策定いたしました。

なお、2020年度の想定為替レートは、1USDドル=105円、1ユーロ=115円としております。

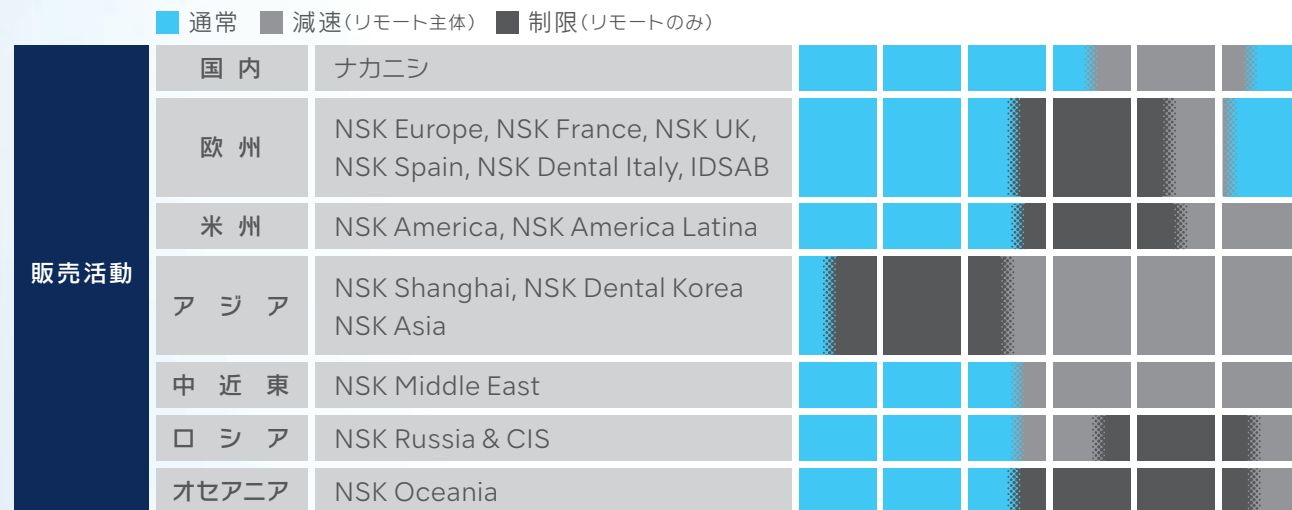
売上高	283 億円	前期比 -19.9%
営業利益	46 億円	前期比 -49.8%
経常利益	49 億円	前期比 -50.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	36 億円	前期比 -48.8%

■ 想定為替レート

1USDドル	105 円	1ユーロ	115 円
--------	-------	------	-------

新型コロナウイルスによる当社事業への影響

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、当社グループでは全従業員の安全と健康の確保を最優先にしつつ、事業活動の継続を図ってまいりました。世界各地でロックダウンが行なわれる中、当社グループの生産活動はサプライチェーンの問題もなく、また感染者を一人も出すことなく、継続することが出来ました。また、販売活動においては大きな制約を受けつつも、一度も完全停止することなく現在に至っています。



感染防止ニーズの高まり

歯科治療における感染防止対策は、歯科医院の診療再開のベースラインとなっており、当社の感染防止ソリューションへの関心が非常に高まっています。独自の感染防止機構を備えたハンドピースや歯科治療器具の再処理サイクル(洗浄・消毒・滅菌)関連製品の需要の立ち上がりに適確に対応してまいります。

当社製ハンドピースに内蔵されている独自の感染防止機構「DualDefense システム」



クリーンヘッドシステム
独自構造によりサックバックを防止



DualDefense動画

逆止弁
汚染水の引き込みを防止

再処理サイクル(洗浄・消毒・滅菌)製品ラインアップ

国内市場向け製品群



▲ 洗浄・注油システム
iCare



▲ 小型・高圧蒸気滅菌器
iClave mini2

海外市場向け製品群



▲ 洗浄・注油・消毒システム
iCare+



▲ 高圧蒸気滅菌器
iClave plus

国内市場に向けて、 小型・高圧蒸気滅菌器「iClave mini2」の販売開始

歯科治療における感染防止対策として、ハンドピースを治療毎に洗浄・消毒・滅菌する(再処理サイクルを回す)ことが推奨されています。

ハンドピース向けの小型・高圧蒸気滅菌器として、国内で高い評価を受けてきた「iClave mini」の後継機として大幅リニューアルした上で、10月1日より国内市場で発売する予定です。

iClave mini2

10/1発売予定

進化した、ハンドピースのための、
スマート滅菌器。

従来品はイタリア子会社 NSK Dental Italy で開発・製造していましたが、新機種「iClave mini2」は本社の開発部隊がイタリア子会社とコラボレーションしながら、より日本市場に合った高品質な滅菌器に仕上げました。機能性や操作性も大幅にアップし、本社工場で生産していく予定です。

ウィズ・コロナ時代における感染防止対策として、大きな需要が見込まれます。



工業製品関連事業において、 静電気帯電防止スピンドル「NR33-6000ATC-ESD」 および超音波研磨装置「シーナスZERO」を発売

従前からの米中貿易摩擦問題にコロナ禍が重なり、世界各地の市場は退潮傾向にあるものの、市場ニーズを捉えた2つの新製品をテコに、お客様の需要の掘り起こしを図ってまいります。

NR33-6000ATC-ESD 7/1発売

ロボットや工作機械と組み合わせて活用される小径・高速スピンドル製品ラインアップの新製品として、静電気の帯電を防止するスピンドルを発売しました。

電子機器に搭載されているプリント基板の分割工程でスピンドルは使われています。加工時に発生してしまう静電気の帯電を防止することで、静電気による基板破損を防ぎ、工程の歩留まりの改善につながるものとして期待されています。5G関連で需要増が見込まれる微細なプリント基板の製造分野への導入を目指してまいります。



シーナスZERO 8/21発売

市場から高い評価を得てロングセラーモデルとなった「シーナスneo」の後継機として発売しました。

当社のコア技術の1つである超音波技術を活用して製品化したもので、超音波の「振動」を削る力として用いることで、精緻な研磨作業を可能にしています。アルミ金型から超硬金型まで、様々な金型に対応し、研削・研磨・鏡面仕上げ等様々な作業工程をカバーしています。



株主還元について

■ 中間配当の実績

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の1つと認識し、市場動向や事業展開に備えた内部留保等を勘案した上で、安定的に配当を継続することを基本方針としています。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、事業の見通しが不透明になったことから、期初の配当予想は一旦取り下げていましたが、中間配当の実績は期初の予想とおり、1株あたり15円とさせて頂きました。

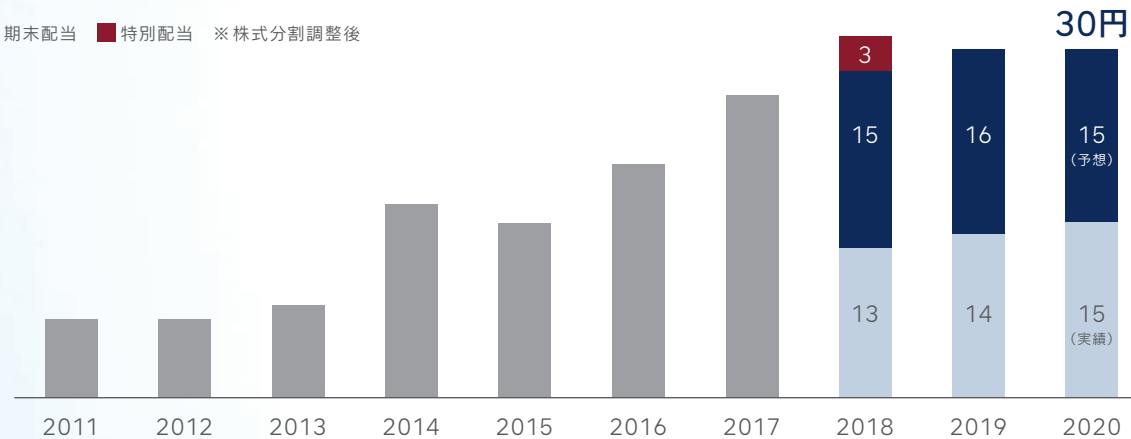
■ 期末配当の予想

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大は、一時的な市場縮小など当社の経営に一定の影響を及ぼすものの、歯科医療の必要性や当社事業の中長期的な成長性に大きな変化はないものと考えております。

2020年度の期末配当につきましては、中間配当と同じく1株あたり15円と予想しており、年間配当金総額は30円(連結配当性向71.4%)となる見込みです。

2020年12月期 年間配当金予想 1株あたり30円

■ 中間配当 ■ 期末配当 ■ 特別配当 ※ 株式分割調整後



EPS(円)	51.96	48.42	53.61	79.33	71.22	61.15	84.75	87.59	81.97	42.01
配当性向(%)	12.8	13.8	14.9	21.0	21.1	32.7	30.7	35.4	36.6	71.4

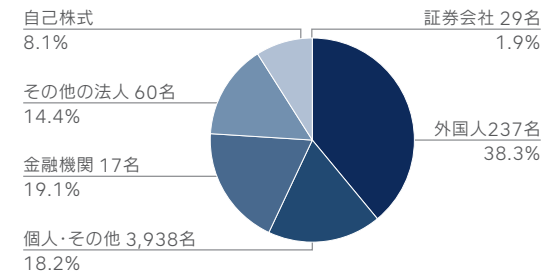
株式の状況 (2020年6月30日現在)

■ 発行可能株式総数 375,000,000株

■ 発行済株式の総数 94,259,400株

■ 株主数 4,282名

■ 株式分布状況



■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	4,698千株	5.4%
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	4,650千株	5.3%
ナカニシE&N株式会社	4,530千株	5.2%
JP MORGAN CHASE BANK 385632	4,250千株	4.9%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,278千株	3.7%
株式会社オフィスナカニシ	3,120千株	3.6%
公益財団法人NSKナカニシ財団	3,021千株	3.4%
中西英一	2,814千株	3.2%
中西賢介	2,806千株	3.2%
中西崇介	2,781千株	3.2%

(注) 1. 当社は、自己株式を7,602千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

会社概要 (2020年6月30日現在)

社名 株式会社ナカニシ
設立 1951年2月
代表者 代表取締役社長執行役員 中西英一
資本金 867,948,542円
従業員数 1,182名(連結)
本社 栃木県鹿沼市下日向700番地
事業所 東京事務所
大阪事務所

主要関係会社
モスクワ事務所(ロシア)
NSK-America Corp.(アメリカ)
NSK Europe GmbH(ドイツ)
NSK France S.A.S.(フランス)
NSK United Kingdom Ltd.(イギリス)
NSK Nakanishi Dental Spain S.A.(スペイン)
NSK Oceania Pty. Ltd.(オーストラリア)
NSK Shanghai Co.,Ltd.(中国)
NSK Dental Italy S.r.l.(イタリア)
NSK Dental Korea Co.,Ltd.(韓国)
NSK America Latina Ltda.(ブラジル)
Integration Diagnostics Sweden AB(スウェーデン)
主要取引銀行 足利銀行、みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行

役員
代表取締役社長執行役員 中西英一
代表取締役副社長執行役員 中西賢介
取締役専務執行役員 鈴木正孝
取締役 野長瀬裕二
取締役 鈴木布佐人
常勤監査役 豊玉英樹
監査役 澤田雄二
監査役 馬来義弘

(注) 1. 取締役 野長瀬裕二及び鈴木布佐人は社外取締役です。
2. 監査役 豊玉英樹、澤田雄二、馬来義弘は社外監査役です。